

# World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.76

Edition February 18th, 2020

## WKFの意思決定プロセスと 日本人ポスト獲得の重要性

■WKFの競技規定や年間スケジュール 大会運営方針はどこで誰が決めるのか?

2020東京オリンピックでの種目採用が決定して 以降、WKFの規約には、「オリンピック種目とし て更なる向上を目指すこと」が掲げられました。 そして時流とともに規約や競技規定が改訂され、大 会が新設されたり廃止されたりしていきます。 今 回は、こうした方針はどこで誰が決めているのか? 当連盟の意思決定機関とプロセスを解説します。

### ■WKFの意思決定に関わる機関は 次の3つから成る

#### ① 総会(Congress)

WKFの最高意思決定機関で、原則として2年に1回、シニア世界選手権大会期間中に招集される。総会では規約の改廃、各国空手連盟(NF)加盟の可否決定、理事選挙といった最重要事項が審議される。

#### ② 理事会(Executive Committee)

25名の理事(2020年現在)から成る、業務執行 の決定を行なう機関。

#### ③ 委員会 (Commissions)

WKFには審判委員会、選手委員会、オリンピック戦略委員会など17の委員会があり、個別に会議を開き、担当業務を遂行している。



WKF理事一同、2018 年 11 月 スペイン、マドリッド

#### ■意思決定の流れ

様々な案件は、まず委員会に提案され、検討・審議を経て、委員会案として理事会に上程されます。 理事会の審議後、再検討が必要な事項は委員会 へ差し戻され、採用された事項は規約にのっとり関連する各委員会、NFに通知されます。案件によっては総会に付議されます。(次のページでWKFの意思決定プロセスを図解しています。)

#### 〈ポスト獲得の重要性〉

他の国際スポーツ団体も同様の構造をしており、国際スポーツ界における日本の存在感を強固にするためにも、NFの発言力を高めるためにも、役員・委員のポスト獲得はたいへん重要です。特に空手母国の日本として良き伝統を守りつつ、オリンピックスポーツとして競技水準の向上を図り、世界中の人々の理解を得、一方で世界の現状・動向を知るためにも日本人メンバーの存在は欠かせません。通訳を介せず、年間最低でも2、3回世界各地で開催される委員会に継続的に出席、頻繁にスカイプで意見交換可能な方を幅広い年代でカバーする事が我が国に求められている喫緊の課題です。

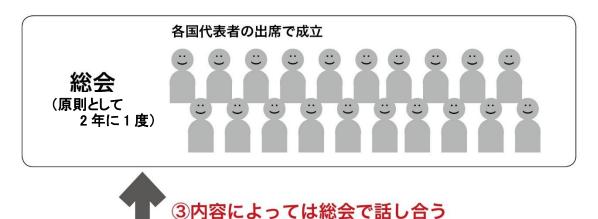
世界空手連盟 事務総長

**春藏稔**之

## 世界空手連盟 事務総長事務所

〒160-0015 東京都新宿区大京町28-12 プラウドフラット新宿御苑101 電話 03-5341-4446 FAX 03-5341-4447

# WKFの意思決定機関とプロセス



会長以下、25名の理事 理事会 (25名) こ こ こ こ こ こ こ

①委員会から 提案、具申



## 委員会

(17 の委員会)

- 審判委員会
- 技術委員会
- ・競技ルール委員会
- ・オリンピック戦略委員会
- ・パラ空手委員会 など

#### (例) 選手委員会



「ジュニアの世界ランキングポイントを シニアに移行できたら良いのでは?」 ④採用されたら 関連する委員会や NFに通達

※ 今号は事務総長ニューズレターvol.57(2018 年 4 月 13 日発行)を、 現状に即して一部改訂したものです。